

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月4日

団体名 はじめの一步きもの倶楽部

代表者 小出 さよみ

構成員 10人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。
 日本の民族衣装である着物を、冠婚葬祭時のみにとどまらず、日常生活の中で、自然に活用できるよう、意識の醸成と共に技術の向上を図り、和文化の継承を促進する。
 また、併せて、外国人観光客及び岡崎在住の外国人におもてなしを行うことにより、国際交流を促進する。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
10月13日	悠紀の里 (和室)	ゆきファミリーパーク 来場者	30人	イベント参加者の一般人に対し、 着物の試着体験と、七五三などの しきたりの解説を行った。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

易くにある着物を活用する方法などを広く市民に知らしめる活動として、イベント参加を行ない、地域に定着している。年々、口コミで参加者が増加しており、浸透していると思われる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。
 積極的な告知が不足していたが、参加者からは好評を得ており、
 年々参加希望者も増加している為、公益性は、かなり高いと分析した。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。